

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

| | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------------------|
| 【研究課題名】 | 頭部のスカルピン固定による脱毛の発生頻度およびその背景因子に関する調査 | | |
| 1. 研究の目的と方法 | 脳外科手術では、精密な操作を行うため専用のピンで頭部を固定します。近年、手術の低侵襲化が進み「傷の美しさ」が重視されていますが、固定部位に生じる脱毛については十分な調査がなされてきませんでした。本研究では、約100名の患者さんを対象に、脱毛の発生頻度と、手術時間などと脱毛の関係を調査します。 方法は、過去の診療録を元に頭部のスカルピン固定による脱毛の発生頻度と、背景因子の調査を行います。 | | |
| 2. 研究期間 | 倫理委員会承認日～2026年10月31日まで、研究の実施を予定しています。 | | |
| 3. 対象となる方等 | 2025年1月1日～2025年12月31日までに東京慈恵会医科大学附属病院で、脳・脊椎疾患を含む脳神経外科疾患に対して手術を行った18歳以上の患者さん。 | | |
| 4. 研究に利用する試料・情報について | (1) 試料の種類 | 試料は使用しません。 | |
| | (2) 試料の取得の方法 | 試料は使用しないため、該当しません。 | |
| | (3) 情報の種類 | 年齢、性別、既往歴、アレルギー、身長、体重、BMI、病名、術式、手術時間、開頭法、体位、スカルピンの穿刺位置 | |
| | (4) 情報の取得の方法 | 診療録から診療時のデータを収集します。 | |
| 5. 研究の実施体制 | あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。 | | |
| | (1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者 | 研究機関名 | 東京慈恵会医科大学 脳神経外科講座 |
| | | 氏名 | 渡邊信之 |
| | (2) 当施設の長 | 東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥 | |
| | (3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者 | (1)の研究責任者と同じ | |
| (4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者 | この研究では共同で研究を実施する機関はありません。 | | |

| | |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて | この研究では、外部の機関と情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年6月頃～ |
| 【問い合わせ先】 | 機関名：東京慈恵会医科大学 脳神経外科講座 研究責任者：講師 渡邊 信之（わたなべ のぶゆき） 電話番号：03-3433-1111（内線 3461） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00 |

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。